

平成 21 年度宮前区区民会議  
公園・地域づくり部会(第 5 回)

平成 21 年 10 月 13 日(火) 18 時 15 分～20 時 15 分  
区役所 4 階第 2 会議室

次 第

開 会

1 議 事

(1) 部会報告書(案)について

2 その他

閉 会

《配布資料》

資料 1 公園・地域づくり部会 報告書(案)



宮前区区民会議  
公園・地域づくり部会 報告書(案)

平成21年11月13日



## 1 はじめに

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会は、2008年6月の部会発足以来、2009年10月までに3ヶ月に2回のペースで合計13回の会議を重ねてきました。

第1期では、「高齢者福祉」「子育て支援」「地域防災」など地域の様々な課題に対処するためには、地域コミュニティが機能していることが非常に重要であるということが確認されました。

第2期では、こうした第1期の審議内容を踏まえ「地域コミュニティの活性化」を大きなテーマとして設定し、この部会では「公園を地域コミュニティの場として活用していく」ことを目指すべき方向性として、1年半にわたり議論を行ってきました。

公園は、老若男女誰もが気軽に利用できるオープンスペースであり、地域コミュニティを活性化させるツールとして大きな可能性を感じさせるものです。その反面、この「誰もが使える」という特徴があるゆえに、様々な面で地域での利害対立や軋轢を生み、結果として「使いにくい」という状況に陥っている面もあると考えられます。

部会では、こうした公園の持つ特徴や現在置かれている状況を客観的に把握し、理想とする公園像と解決すべき課題を明らかにして、公園を活用して地域コミュニティを活性化させるための具体的な課題解決策を審議し、このたび次の3つの提案をまとめるに至りました。

### 【公園・地域づくり部会からの提案】

- 提案①：公園を知ってもらおう！～公園内に掲示板などを設置～
- 提案②：「冒険あそび場」をひろめよう！
- 提案③：もっと公園で遊ぼう～宮前区公園の日の設定～

提案の詳細は後述しますが、提案に至るまでの現状把握・課題の設定などを含めて、これまで審議内容を次のとおり報告します。

## 2 宮前区の公園の現状と取組

### (1) 公園の有する機能

宮前区の公園に限ったことではありませんが、一般的に公園は、誰もが気軽に利用できる緑豊かなオープンスペースであり、レクリエーション・憩いの場といった機能に加え、防災拠点にもなるなど多様な機能を有しています。例えば、第1期の提案にあった公園体操などは、当初8箇所だったのが現在は30箇所以上に増え、高齢者の健康づくりと地域コミュニティの活性化に大きく寄与しています。

このように、公園は住民が集い交流することのできる地域コミュニティの拠点となりうる可能性を持っていると考えられます。

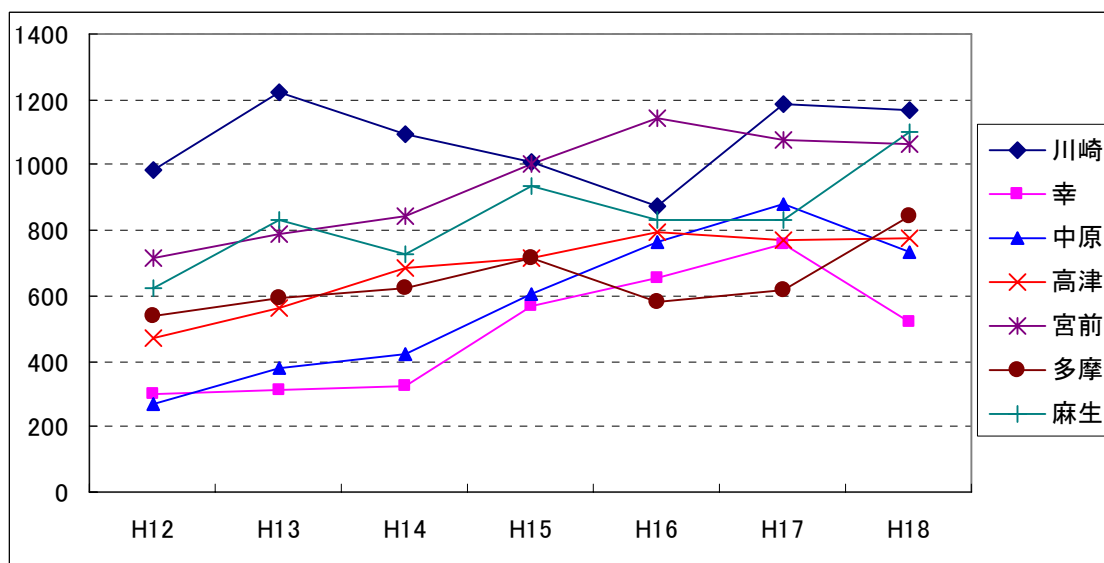
#### (2) 公園(都市公園・市営公園)の整備状況

平成20年3月現在の宮前区の公園の整備状況は次のとおりとなっています。川崎市全体では麻生区に次いで2番目に公園の多い区となっています。

区分	公園数
街区公園	174
近隣公園	6
その他	14
合計	194

#### (3) 増加する苦情

主に、増加する公園に見合う維持管理経費が十分に確保されなかったことなどが原因で、樹木の剪定や遊具やトイレ等の公園施設の故障などに関して、公園事務所に寄せられる苦情が増える傾向にあります。



このほか、ごみの不法投棄やペットの扱いのほか、青少年の夜のたまり場になってしまっている公園もあるなど、マナーや倫理上の問題もあり、せつかくの公園が迷惑施設になってしまっている側面もあります。

#### (4) 地域が主体となった管理運営

川崎市緑の基本計画(平成20年3月改定)では、「協働により緑を守り育む持続可能な仕組みの構築」を基本方針の1つとして掲げています。

地域住民の身近な公園については、地域が主体となって管理・運営することが基本的な考え方とされ、それを具体化するものとして、公園・緑地管理運営協議会の制度が緑の基本計画の改定に先立ち、平成17年度からスタートしています。

この公園・緑地管理運営協議会は、身近な公園を地域のコミュニティ拠点としていくことを大きな目的として、これまでの愛護会が担っていた除草・清掃の役割に加え、中

低木の剪定など、より高度な維持管理を地域で担うほか、公園の利用方法などの運営面においても、その調整機能を地域が担うことができるようになりました。

平成20年3月現在、宮前区では46箇所で開催所・緑地管理運営協議会が設立されています。

### 3 解決すべき課題など

#### (1) 理想とする公園像について

現在置かれている公園の状況と理想とする公園像とのギャップを明らかにし、課題解決によって目指す方向性をより明確にするため、理想とする公園像について意見交換し、イメージの共有を図りました。

#### ■ 望ましい施設…トイレ、ベンチ、看板など、地域のニーズや実情に合わせて

- ・ 公園に必要な施設として、トイレ・ベンチ・看板・時計・遊具など、公園の立地、利用者の構成やニーズ、地域の実情に合わせた施設が配置されている。
- ・ どのような施設が必要かを自分たちで検討できるしくみができている。

#### ■ 維持管理・運営のあり方

- ・ 多様な世代が無理なく主体的に  
子どもから高齢者まで、地域の多様な世代が無理なく主体的に関われるしくみがある。
- ・ 利用者が維持管理・ルールづくり  
企画運営に関わる利用者自らが、維持管理の方法や利用上のルールづくり、企画運営に関われるしくみがある。

#### ■ 公園の使い方（コミュニティ面）

- ・ 多世代が利用し顔見知りの関係に  
子どもから高齢者まで、地域の多様な世代に利用され、公園での出会いを通して地域内でお互いが顔見知りの関係を築いている。
- ・ 地域のイベント会場として  
お祭りや盆踊りを始め、地域の様々なイベント会場として公園が利用されることで、自然に地域住民が集まり交流する場となっている。

#### (2) 解決すべき課題について

理想とする公園像と現状とのギャップを踏まえ、部会では、解決すべき課題を次のとおりとしました。

#### ■ 課題①：維持管理について

- ・ 担い手の不足・固定化・高齢化  
公園の維持管理活動に関わる人が少なく、また、現在関わっている人材も固定化、高齢化している現状があり、より多くの人に関わるしかけが必要である。
- ・ 公園緑地管理運営協議会の存在・役割の周知・普及  
公園緑地管理運営協議会の存在や役割が地域に広く知られていない現状がある。また、活動が清掃や樹木の剪定等の維持管理面にとどまっている団体が多

く、要綱上含まれている公園の運営など地域のコミュニティづくりにまで至っている活動団体が少ない。

また、そうした活動が可能であることがあまり知られていない現状がある。公園緑地管理運営協議会の存在や本来の役割を区民に周知・普及して、より主体的な活動を広げていくことが求められる。

#### ■ **課題②：公園利用について**

##### ・ 利用層の偏り・固定化

公園を利用する人が限られている傾向があり、公園を地域コミュニティの拠点とするにはより多様な人が気軽に公園に集い利用することが必要である。

##### ・ コミュニティ価値の情報発信不足

公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。公園を地域コミュニティの拠点として位置付けるために、公園の必要性やまちづくりにおける重要性について、もっとアピールしていくことが必要である。

##### ・ 利用者マナー

一部の利用者に見られる公園の利用マナーの改善が求められる。公園の価値を地域で認識・共有し、公園に愛着を持つことが進めば、利用マナーが自然に改善されていくと考えられる。

## 4 公園を活用した地域コミュニティの促進に関する具体的な解決策

### ● **提案①：公園を知ってもらおう！～公園内に掲示板などを設置～**

#### 【趣旨・目的】

- ・ 公園では地域の色々な団体が主体となって、公園・緑地管理運営協議会の活動のほか、公園体操や自主保育など多様な活動を行っています。
- ・ こうした公園内での活動・イベントを広く知ってもらい、より多くの参加を促し、最終的には地域コミュニティが活性化することを目指します。

#### 【実施方法/実施主体】

##### ■ **活動内容をPRする掲示板の設置**

- ・ 日ごろの活動内容を恒常的に発信できるような掲示板を団体からの申請に応じて、宮前区役所が公園事務所の許可を受けた上で設置します。
- ・ 宮前区役所と団体とで管理協定を締結します。
- ・ 設置の申請ができる団体は、公園で地域コミュニティに資する活動を継続的に行っていると同時に、地域の利害関係の調整や掲示板の管理・運営に責任を持ってあたる団体が望ましいため、公園・緑地管理運営協議会に限定します。

##### ■ **活動内容をPRするプレートの設置**

- ・ 公園・緑地管理運営協議会以外で、公園体操や自主保育など地域コミュニティの活性化に資する個別の活動を行なっている団体に対しては、掲示板ではなく活動内容を記した



プラスチックのプレートなどを制作し、公園事務所の許可を受けた上でフェンス等に掲示できるようにします。

- ※ 提案②の「冒険あそび場」の実施団体については、その支援のメニューとして「掲示板の設置」を用意します。

#### 【実施時期】

- ・ 実施時期については、平成 22 年度からの実施が望ましいものとします。

## ● 提案②：「冒険あそび場」をひろめよう！

#### 【趣旨・目的】

- ・ 現代の子どもには、その成長にとって必要な**時間・空間・仲間**の「サンマ(3つの間)」がないといわれています。
- ・ そこで、公園というオープンスペースを活用し「冒険あそび場」を地域が主体となって実施することで、次世代育成の場の確保を目指します。
- ・ また、「冒険あそび場」への地域住民が参加を促進し、本部会の趣旨である地域コミュニティの活性化も目指します。

#### 【実施内容】

- ・ 「冒険あそび場」の実施には、地域で利害の対立する可能性もあるため、宮前区の地域特性に合ったルールを策定する必要があります。
- ・ しかし、区民会議として具体的なルールを作ることは難しく、実際に活動に携わる団体と行政とが協働でルール作りを行う必要があります。
- ・ このため、平成 22 年度に「(仮称)宮前区冒険あそび場支援検討委員会」を設け、「冒険あそび場」のルールや行政からの具体的な支援のあり方について検討を行います。
- ・ このほか、冒険あそび場をもっと広げることを目的として、実施を希望する地域団体を対象に、既存の実施団体に依頼して出張「冒険あそび場」を実施し、「冒険あそび場」が体験できる機会の確保を図ります。

#### 【(仮称)宮前区冒険あそび場支援検討委員会の概要】

- ・ 市民が行うプレイパーク活動を積極的に支援するためのルールや行政支援のあり方を、区役所・関係行政機関・既存活動団体・子育て支援団体・青少年育成関係者等で検討します。

〈委員会への参加を呼びかける団体〉

既存団体（ポレポレ/とんもり谷戸の自然を守る会/野川こ文プレイパーク(自主学童保育 ささのはクラブ)）/地域で子育てを考えよう連絡会/青少年指導員連絡協議会/運動普及推進員連絡協議会/民生委員・児童委員協議会/こども会連合会/ボーイスカウト・ガールスカウト/地域教育会議（順不同）

〈行政機関〉

区役所(企画課/地域振興課/こども支援室/道路公園センター)

## ● 提案③：もっと公園で遊ぼう～宮前区公園の日の設定～

### 【趣旨・目的】

- ・ 公園は誰もが気軽に使えるオープンスペースですが、中にはあまり使われていない公園もあります。
- ・ 公園を地域コミュニティの核としていくために、地域住民にもっと公園に目を向けてもらう必要があります。

### 【実施内容】

- ・ 毎月、第○曜日を「宮前区公園の日」として、イベントなどの開催を地域に呼びかけます。
- ・ 現在、毎月発行している「歳時記みやまえ」をモデルに、「みやまえ公園イベント情報」を毎月発行し、各町内会・自治会に回覧をお願いします。
- ・ 同時に、宮前区地域ポータルサイト「みやまえぼーたろう」でも公園でのイベント情報を発信します。
- ・ 「宮前区公園の日」の呼びかけは、区民会議委員が所属している各団体や、公園・緑地管理運営協議会や愛護会などに委員や区役所が直接行うほか、「みやまえ公園イベント情報」や「みやまえぼーたろう」上でも行います。

## ※ 公園・緑地管理運営協議会について

### 【課題の概要】

- ・ 公園・緑地管理運営協議会は、維持管理だけでなく地域コミュニティの担い手としての役割も期待されています。
- ・ しかしながら、実際には地域コミュニティの担い手としての意識はあまり強くなく、専ら維持管理を行う組織として認識されている傾向が見られます。

### 【方向性】

- ・ 公園・緑地管理運営協議会については、このような課題があると考えられるため、行政側では、協議会の代表者が集まる会議の場を活用し、まずは研修などを通じて地域コミュニティの担い手であるという協議会の趣旨を改めてお知らせすることや、区民会議での審議経過を伝えることなどから始めるべきと考えます。
- ・ このほか、市民の側では区民会議委員が中心となって、地域の協議会と積極的に関わり、サポートしていくことが重要と考えます。

## 5 会議開催経過

公園・地域づくり部会では、合計 13 回の部会を開催しました。会議の開催経過及び主な議論内容は次のとおりになっています。

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（5月～7月）

区民会議 平成20年 高齢者や子育て支援活動における活用や世代間交流などが期待できる  
 全体会 5月23日 「地域の庭」として、公園を審議対象テーマに選定

第1回部会 平成20年 部会名称の決定  
 6月16日 具体的な審議テーマについて  
 宮前区の公園緑地の現状と課題について

■部会名称は「公園・地域づくり部会」に決定

■具体的な審議テーマ

- ・公園という場を活用した、「高齢者支援、子育て支援、多世代交流、地域コミュニティづくり」といった利活用のあり方（ソフト面）
- ・「地域特性に応じた魅力ある公園づくり」といった公園の維持管理・整備（ハード面）
- ・公園を活用しようにも現実には維持管理の水準が十分でない公園もある
- ・ハード面が十分であるからといって行きやすい・利用しやすい公園には必ずしもならない

【配布資料】

- ・部会の具体的な審議テーマについて（たたき台）
- ・川崎市緑の基本計画（抜粋）
- ・地元管理運営マニュアル
- ・宮前区の公園緑地一覧
- ・公園・緑地等位置図
- ・統計資料

両者を対立させて考えない・・・

■公園緑地の現状と課題について（西部公園事務所から説明）

- ・19年度まで維持管理の予算が減り続けており、行政として十分な維持管理ができていない状態
- ・地域の公園は地域が主体となって維持管理をしていただくのが、現在の川崎の基本方針  
 →公園緑地管理運営協議会、公園緑地愛護会の活性化が必要
- ・各委員が公園に対して抱えているイメージや問題意識についてフリートーキング

第2回部会 平成20年 第1回部会の論点整理と今後の議論の進め方について  
 7月7日 公園や地域コミュニティ等に関する現状と課題について

■第1回部会を踏まえた議論の方向性

- ・公園整備そのものを目的とするのではなく、公園という場を活用していかに地域コミュニティを活性化させていくか、という目的のもとソフト面・ハード面を含めた解決策を検討していく

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第1回）の論点整理と今後の審議の進め方について
- ・議論ペーパー（白紙）
- ・身近な公園の良い点・悪い点一覧表

■今後の審議のスケジュール・進め方

- ・部会設置期間：第2期の期間中を通して審議を行うものとする
- ・部会案の報告時期：現段階では特に定めず、課題解決策がまとまり次第順次報告する

【進め方】

審議の目的を共有



現状と課題の把握



課題の原因分析



課題解決策の審議

■委員による地域の公園の現状把握

- ・第1回部会と第2回部会との間に、部会委員が近所の公園の良い点・悪い点や公園で行われている地域活動などを調査（全22公園）し、その結果を報告  
 →今後、この調査を元に良い点・悪い点を一般化し、理想とする公園像を導き出す  
 →理想とする公園像をベースに、地域コミュニティの活性化につなげていく方を議論する

# 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（8～10月）

区民会議  
全体会

平成20年  
8月6日

7月までの審議状況を報告

第3回部会

平成20年  
9月12日

公園や地域コミュニティに関する現状について  
理想とする公園像について

## ■「公園・地域に関する現状」をこれまでの議論を踏まえて整理 【配布資料】

- ・別紙 議論ペーパーのとおり
- ・今後議論を進めていく中で、変更や追加がありうることを確認
- ・議論ペーパー
- ・公園の良い点・悪い点一覧表

## ■理想とする公園像（①望ましい施設、②維持管理のあり方、③地域での使い方 の観点から議論）

### ①望ましい施設

- ・トイシ、ベンチ、看板、時計、砂場などが「望ましい施設」として例示されたが、地域のニーズや実情によってその必要性が変わるため、区民会議としてその設置自体を提案することはしない

### ②維持管理のあり方

- ・市だけが管理するもの、公園緑地管理運営協議会も管理しているもの、公園緑地愛護会が除草清掃活動を行っているものなど様々な管理形態があり、何が理想かはさらに検討が必要

### ③地域での使い方

- ・各種体操や地域お祭りなど、多様な使い方がされている

➔ 「理想とする公園像」をより具体的に検討するために、次回は、参考となる公園の管理者、利用者からヒアリングを実施

第4回部会

平成20年  
10月10日

公園での活動に関する取組事例について  
（鷺ヶ峰公園管理運営協議会/つくし野「公園あそび応援隊」）

## ■鷺ヶ峰公園管理運営協議会

- ・自治会と老人会で組織。
- ・これまでの主な活動内容は、除草清掃/花壇づくり/落書き消し/餅つき大会など
- ・メンバーの固定化・高齢化が課題

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第3回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー

## ■つくし野「公園あそび応援隊」（町田市）

- ・自治会としての活動ではなく、近隣住民の有志による活動。地域性もあるが、組織化せず、やりたい人・やれる人が関わっていることが継続できているポイント
- ・これまでの主な活動内容は、朝のラジオ体操/防犯パトロール/公園見守りなど
- ・防犯パトロールや公園見守りは、学校と連携して実施。保護者も活動に積極的に参加

第5回部会

平成20年  
10月27日

理想とする公園像について  
解決すべき課題について

議論ペーパーに基づき、理想とする公園像、解決すべき課題について検討

【配布資料】

## ■理想とする公園像

別紙 議論ペーパーのとおり

- ・公園・地域づくり部会（第4回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー

## ■解決すべき課題

別紙 議論ペーパーのとおり

## ■具体的な課題解決策（イメージ）

公園利用者自身によるルールづくりの仕組みと地域での合意形成、公園内への掲示板の設置による情報発信、維持管理だけでなく企画を行う組織の確立（既存組織の刷新）、公園からのまちづくりの必要性のアピールなど

# 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（11～1月）

区民会議 平成20年 10月までの審議状況を報告  
全体会 11月16日

第6回部会 平成20年 12月9日 地域の課題の具体的解決策について

議論ペーパーに基づき、解決すべき課題を踏まえ、具体的な課題解決策について検討

## ■公園の魅力アピール

- ・公園内に掲示板などを設置し、イベント情報などを発信してはどうか。
- ・この部会から公園の魅力をもっとPRしてはどうか。
- ・公園をテーマにした集いを開催することで、公園に関する情報交換、事例報告などができるとよい。

## 【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第5回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー
- ・公園を活用したコミュニティづくりに向けた提案

## ■コミュニティのきっかけづくり

- ・既存の団体が行っている活動の中には、コミュニティの視点を取り入れるものがあるので、既存の活動とコミュニティを一体化するための方法を検討する必要がある。
- ・あまり利用されていない公園にどうやったら人が興味を持って来るようになるのか、検討する必要がある。

## ■維持管理・運営の担い手・組織など

- ・（公園緑地管理運営協議会という制度があることを前提として）公園の維持管理だけでなく企画を行う組織の確立が必要である。
- ・公園に携わる地域の人達の情報共有・交換のために、全区的な集まりがあることが望ましい。
- ・利用者間の調整やルールは、法令の範囲内で地域の実情に応じて公園を利用する人が決めることが望ましい。
- ・「あるべき論」よりも地域にとってのメリットを念頭に置く必要がある。

第7回部会 平成21年 1月20日 地域の課題の具体的解決策について  
区民会議フォーラムについて

## ■議論の視点について

- ・議論の視点としては、「公園の日常的な利用・イベントでの活用」と、「利用調整等を行う組織の確立」などがある。
- ・これまでは、「利用調整等を行う組織の確立」を主に議論してきたが、まず公園を使ってもらわなければ何事も進まない。
- ・このため、まず「公園の日常的な利用・イベントでの活用」を中心に議論を進めていくこととした。

## 【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第6回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー
- ・公園・地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料
- ・子育て自主活動グループからみた現状と提案
- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラムについて（案）

## ■コミュニティのきっかけづくり

- ・具体的な手法として、スタンプラリー、水遊び、体操などの提案が出された。
- ・大きなイベントだけでなく、日常的に「何か」が行われていることが、結果として公園利用の促進につながり、コーディネート者の育成や管理運営協議会への発展へとつながるのではないかと。

## ■区民会議フォーラムについて

- ・地域活動事例の紹介として、自主保育活動をしている「ポレボレ」に参加を依頼することに決定。
- ・分科会での意見交換の視点として次の点があげられた
  - ①公園でやりたいこと
  - ②公園デビューに必要なこと
  - ③理想の公園となるのに必要なこと

# 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（2～4月）

平成二十一年度

第8回部会

平成21年  
3月5日

区民会議フォーラムについて  
具体的な課題解決策について～公園の魅力をアピールする方法～

## ■区民会議フォーラム（3月15日開催）について

- ・区民会議フォーラム分科会の検討項目、進行方法、役割分担について決定。
- ・各団体に対して、口コミで参加を呼びかけることを確認。

### 【配布資料】

- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラム分科会（公園・地域づくり）の進め方について（案）
- ・議論ペーパー
- ・公園地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料

## ■掲示板の設置について

- ・掲示板の設置に当たっては、管理する組織が必要である。
- ・公園に設置する掲示板は、一般的な行政や自治会の情報ではなく、公園のイベント、管理日程など、コミュニティづくりに寄与する情報を掲示する。
- ・掲示板の制作に公園で剪定した木を使用するなど、掲示板の設置に利用者が参加することで、掲示板の設置過程がコミュニティ形成につながる。

区民会議フォーラム

平成21年  
3月15日

平成20年度検討内容の報告

委員参与との  
意見交換会

平成21年  
4月20日

中間報告等に関する参与との意見交換

平成21年度  
第1回部会

平成21年  
4月22日

今後のスケジュールと進め方について  
具体的な課題解決策について

## ■今後のスケジュールと進め方について

- ・9月の部会で議論をまとめ、11月の第3回区民会議全体会で、提案内容をオーソライズするスケジュールで、今後の検討を進める。
- ・実現に結びつけるには、提案内容に加え、どのように文章化するかが重要である。
- ・文章表現については、11月以後も引き続き検討する。

### 【配布資料】

- ・今後のスケジュールと進め方について（案）
- ・公園・地域づくりアンケートのまとめ
- ・議論ペーパー

## ■掲示板の設置について

- ・公園で実施されるさまざまな活動を通して、コミュニティを活性化させることを目的とした情報を発信するために、掲示板を設置する。
- ・掲示板の設置に当たっては、維持管理する主体を明確にしておく必要がある。
- ・公園を利用する団体が、掲示板の設置、利用を通して連携ができ、公園の維持管理への参加に結びつくと良い。
- ・掲示板以外にも、ホームページなどを情報発信手段として活用する。

## ■公園に目を向けてもらうためのイベントの実施について

- ・公園の日を設定し、公園に目を向けてもらうためのイベントを開催する。
- ・ディスカバーウォーク、スタンプラリー、写真コンテスト、公園体操など、既存の活動とうまく結びつける。
- ・公園に目を向けてもらうためのイベントの実施にプレーパークが位置づけられているが、宮前区ならではの支援の仕組みが確立できると目玉になる可能性があるため、別立てしてもよい。

平成二十一年度

# 宮前区区民会議 公園地域づくり部会 検討経過 (5月～7月)

区民会議  
全体会

平成21年  
5月29日

部会検討経過の報告

第2回部会

平成21年  
6月23日

具体的な課題解決策について

## ■具体的な課題解決策について

【プレイパークの必要性】

- ・プレイパークは、単なる子どもの遊び場ではなく、新しい地域コミュニティの拠点である。

【プレイパークの進め方】

- ・プレイパークのルールづくりを進める。  
(ルールの必要性を提案。策定については別組織で行う。)
- ・区内のモデルとなる受け皿を設定する。

【宮前区版プレイパークの提案】

- ・単なる子どもの遊び場ではなく、公園を活用した地域コミュニティの活性化の活動(例：餅つき等)ができる仕組みを作る。
- ・プレイパークを踏まえた新たなコンセプト、名称が打ち出せると良い。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・プレイパークについて

第3回部会

平成21年  
7月28日

具体的な課題解決策について

## ■具体的な課題解決策について

【宮前区公園遊びの日の設定、日常的に公園を利用できる仕掛けづくり】

- ・公園に目を向け、公園遊びを広めるためのイベントやプレイリアカーなどについて、各団体に持ち帰り、具体的にどんなことが実現可能なのか、解決策の実現に向け検討を進める。

例) 統一美化デーに合わせた開催案

美化活動の終了後、午後に公園でイベントを行うなど

【宮前区版プレイパークの推進】

- ・宮前区版プレイパークの実現に向けたルールづくり  
区の要綱策定/プレイリーダー養成支援/新たな活動の普及促進

【維持管理・運営の担い手・組織など】

- ・公園の維持管理・運営の担い手は、一義的には公園緑地管理運営協議会の役割であるが、その他のグループであっても個別の活動については運営の担い手になりうる。
- ・活動を通じて、地域で主体的に動ける担い手を育てていく。関わってくれた市民を担い手とするために「背中を押してあげる」手法を検討する。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・第2回部会 確認事項(別紙)
- ・ディスカバーウォーク(参考)
- ・フォトコンテスト(参考)

平成二十一年度

# 宮前区区民会議 公園地域づくり部会 検討経過 (8月～9月)

区民会議  
全体会

平成21年  
8月4日

第1期提案の取組状況  
部会検討経過の報告

第4回部会

平成21年  
7月28日

具体的な課題解決策について

## ■具体的な課題解決策について

【配布資料】

・議論ペーパー

【宮前区版 冒険あそび場】

- ・宮前区版の冒険あそび場を積極的に支援するためのルールを、支援検討委員会を組織して策定する。
- ・委員会メンバーは既存団体や子育て・青少年団体、行政などとする
- ・各公園の使い方のルールは、実際の公園の利用者や管理組織がそれぞれ決める。

【宮前区公園の日】

- ・「公園の日」を設定し、イベントなどの開催を地域に呼びかける。既存の活動を上手につないだり重ねたりしながら、公園を意識したイベントを開催し、公園に目を向けてもらえるようにする。
- ・「歳時記みやまえ」をモデルに、各公園で行われている活動を紹介する公園イベント情報誌を発行する

第5回部会

平成21年  
10月13日

具体的な課題解決策について

平成二十一年度



目指すべき方向性

公園を地域コミュニティの場として活用していく

全体会での意見など

- ・公園がコミュニティの拠点になることで、公園に愛着が生まれ、管理が行き届く。
- ・コミュニティの場としての公園には、コーネーターの存在が必要不可欠だ。
- ・宮前区の公園は7区でも多い方なので、これらの公園がいまいるときと比べると、区民の宝になる。
- ・子育てが終わった世代は公園に行かなくなりがちなので、楽しそうな企画があれば通りがかりでも参加できるのではないかと

公園・地域に関する現状

◆ 地域コミュニティなどに関する現状と取組  
(公園を絡めた解決策を視野に入れて…)

第1期区民会議では、審議課題である高齢者支援や、子育て支援、地域防災などを効果的に行うには、顔の見える関係づくり(地域コミュニティ)が重要であると確認された。

◆ 公園そのものに関する現状と取組

区内には190の公園緑地がある。  
うち、街区公園：170 近隣公園：6 その他：14  
公園緑地・街路樹に関する苦情が急増している  
H12：714件→H18：1,065件

地域の公園は地域が主体となって管理するのが、市の基本方針となっている。宮前区では12箇所で地域による維持管理活動等が行われている。  
うち、公園緑地管理運営協議会：51  
地愛護会：78

レクリエーション、憩いの場に加え、緑地、防災拠点など公園には多様な機能がある。

夏祭りや盆踊り等地域のイベント会場、ラジオ体操、健康体操の会場などとして使用されている。

一部の公園で、施設の老朽化や管理が十分でないケースが見られる。

誰でも使えるオープンパークであるが、その利用方法は、立場や世代によって利害が対立する場面がある。

ゴミの不法投棄、犬や猫の糞など、一部に、マナーの悪い利用者がいる。

理想とする公園像

◆ 望ましい施設

トイ、ベンチ、看板、時計、砂場などがあげられたが、地域のニーズや実情によって異なる

◆ 維持管理・運営のあり方

地域の多様な世代が、できる範囲で無理なく主体的に維持管理に関わっている  
公園利用者自らが、自主的に公園の維持管理、ルールづくり、催し物の企画運営に関わることができる

◆ 地域での使われ方(コミュニティ面)

普段から子どもからお年寄りまで、多世代の人が自由に利用しており、顔見知りの関係ができている  
地域のお祭りやイベント会場としても使用され、地域の交流が図られている

解決すべき課題

◆ 維持管理について

活動に関わる人が少ない。参加者の固定化・高齢化が見られる。  
公園緑地管理運営協議会が存在・役割とも地域にあまり知られていない。

自主的な公園利用のルールをみんなで話し合う組織としての公園緑地管理運営協議会の役割が内部の人にもあまり知られていない。

◆ 公園利用について

公園の利用層に偏りがあり、特定のしか利用しない傾向がある。

公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。

利用者のマナーが良くない(ごみ・たばこ・ペットなど)

具体的な課題解決策

◆ コミュニティのきっかけづくり

提案①：公園を知ってもらおう！

～公園内に掲示板などを設置～

- 活動内容をPRする掲示板の設置
- 日ごろの活動内容を恒常的に発信できるような掲示板を設置。
- 設置の申請ができる団体は、公園で地域コミュニティに属する活動を継続的に行っているとともに、地域の利害関係の調整や掲示板の管理・運営に責任を持ってあたれる団体に限定
- 活動内容をPRするプレートの設置
- その他、公園体操や自主保育など地域コミュニティの活性化に資する団別の活動を行なっている団体の活性化は、掲示板ではなく活動内容を記したプラスチックのプレートなどを制作し、フェンス等に掲示

◆ 公園の利用促進に向けて公園の魅力アピール

提案②：「冒険あそび場」をひろめよう！

- 「(仮称)宮前区冒険あそび場支援検討委員会」の設置し「冒険あそび場」のルールや行政からの具体的な支援のあり方について検討
- 既存の実施団体に依頼して、実施を希望する地域団体にに対して、出張「冒険あそび場」を実施し、「冒険あそび場」が体験できる機会を確保

提案③：もった公園で遊ぼう～宮前区公園の日の設定

- 毎月、特定の曜日を「宮前区公園の日」として、イベントなどの開催を地域「呼びかけ」
- 現在、毎月発行している「歳時記みやまえ」を毎月発行し、「みやまえ公園イベント情報」を毎月発行
- 同時に、宮前区地域ポータルサイト「みやまえばーたらう」でも公園でのイベント情報を発信

◆ 維持管理・運営の担い手・組織など

- 公園・緑地管理運営協議会の活性化については、有効な解決策を見出すことができなかったため、①～③の提案を実施する際には、必ず管理運営協議会(設置されている地域のみ)と連携を図ること目指していく

# 公園・地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料

